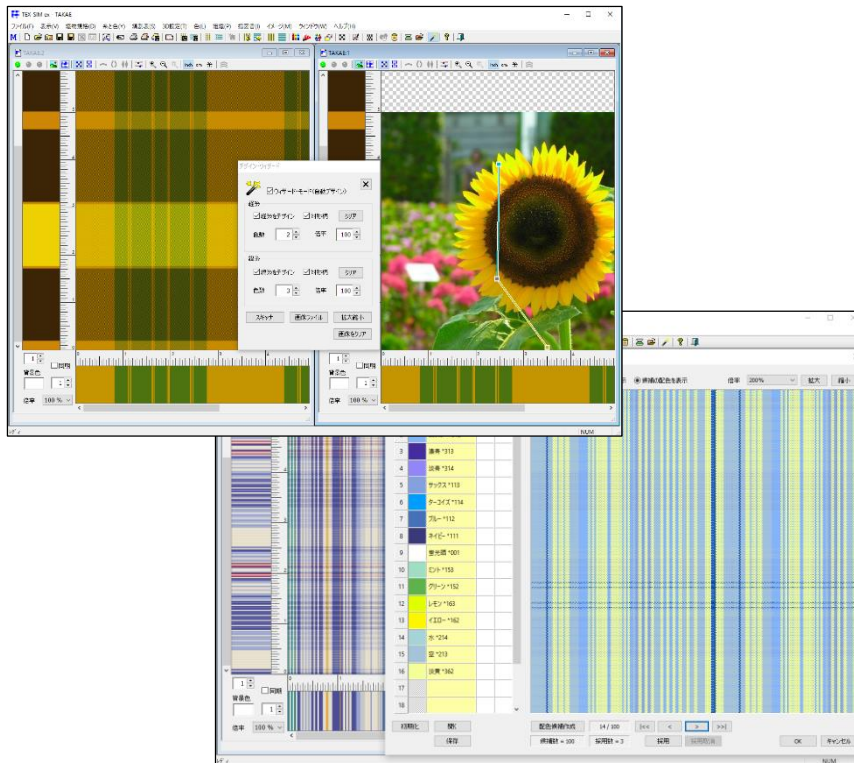


H27年度 西脇市ものづくり・あきない経営革新支援事業補助金 実績一覧

| No. | 事業名・成果物 | 実績 |
|-----|---|---|
| 1 | <p>播州織を活用した和装商品の開発・販路開拓 (株)斎藤商店</p>  <p>絹と比較して取扱いが容易な播州織で、産地では初の取組となる着尺生地を作成し、これまで関わりのなかった和装業界に提案</p> | <p>補助金額：590千円</p> <p>【進捗状況】 生地加工・修正、着尺加工に時間と予算を要したものの、ほぼ想定通りのペースで開発に成功。</p> <p>【成果】 これまで取引のなかった和装業界に販路を開拓することができ、少額ではあるが新規オーダー受注に成功。 今後、和装業界での播州織ブランドの浸透が期待できる。</p> |
| 2 | <p>オーダーメイドユニットバス開発事業 (株)藤田幸三商店</p>  <p>建築業界において競合他社の少ない「オーダーメイドユニットバス」を開発し、新築戸建住宅・リフォーム住宅・介護施設等向けに販促活動を実施</p> | <p>補助金額：2,306千円</p> <p>【進捗状況】 商品開発は当初の計画通りに終了。 見本市で発表、その際にカタログを配布し、販促活動を行った。</p> <p>【成果】 新規顧客からの問合せや見積り依頼が増加しており、次年度の売上増につながる予定。</p> |

先染織物デザインシステム「TEX-SIM」の
デザイン自動生成機能開発事業
(株ブレイン)

3



デザインデータベースの構築・デザイン自動生成機能の開発・使い勝手の向上を目指し、システム開発を実施

補助金額：2,300千円

【進捗状況】

当初計画通りにすべての機能の開発が終了。

【成果】

新たなOSでシステムが動作可能になり、市販されているPCでの動作が保証され、広く販売することが可能となった。

今後、販促活動に取り組む予定。

炭素繊維複合織物を用いた成形品製造技術開発事業
(宮田布帛(有)・藤邦織物(株))

4



特許技術である、炭素繊維とナイロンなどの合成繊維で構成された複合糸で製織した炭素繊維複合織物を用い、用途に応じた成形品を製造する技術を開発

補助金額：2,407千円

【進捗状況】

様々な分野の企業と共同で成形品製造に取り組み、製品化に向けた開発を繰り返している。

【成果】

一部の分野では、試作品の開発に成功し、展示会出展を計画できる段階に達しており、その後事業化を進める予定。

地元でかなえる小さな起業！女性起業家応援イベント

「HaRT～はあとフェスタ」開催事業

(エルソル広告相談所)



5



起業を目指す女性、起業して間もない女性、事業を軌道に乗せた女性に向けた、北播磨で唯一の“女性向け”ビジネスイベントを開催

補助金額：90千円

【進捗状況】

3月3日(木)に市内のMiraie(ミライ)で開催。

イベントチラシ作成、事前セミナー開催、イベント開催とすべて滞りなく進行し、盛況のうちに終了。

【成果】

来場者はおよそ150名で当初目標を達成。

起業女性会員ビジネス部門での新規会員を獲得できた上に、遠方からの来場者に対する本事業のPRにも成功。

異業種地場産業による共同製品開発・販路開拓プロジェクト

(廣田縫工株)



6

播州織・設計・昇華転写プリント・縫製など市内企業のノウハウや強みを複合させ、1本のレールで前後幕昇降可能な世界に類を見ないデザイン性の高いダブルシェードを開発

補助金額：2,999千円

【進捗状況】

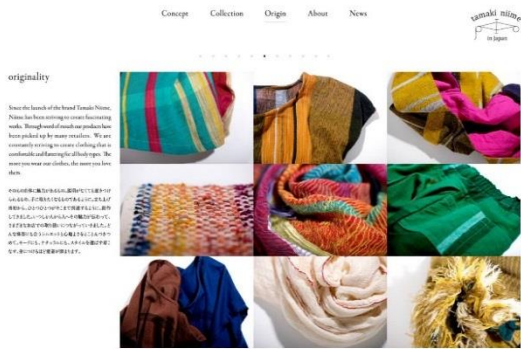
制御・生地加工及びデザイン、最終製品サンプルの開発には成功したが、仕様決定に苦戦したため、広告宣伝・販路開拓は実施を来年度に延期。

【成果】

従来大手メーカーの下請加工に加え、技術の複合による商品提案の可能性が大きく飛躍した。

tamaki niime 独自の地方創生

(有)玉木新雌



7

Web サイト (HP) を英語表記メインにリニューアルし海外への情報発信力を高めると同時に、原材料を自社で生産する取組のシンボルツリーとしてオーガニックコットンを採集できる「トックリキワタ」を購入

補助金額：823千円

【進捗状況】

Web サイト (HP) リニューアル・トックリキワタ植樹ともに予定通りに進行。

【成果】

現在取引のある国内外の顧客のみならず、新規顧客に対しても、取組内容を容易に理解してもらうことに成功。

今後は工房見学等の観光面でもPR促進を図り、来客者数増加に努める予定。

小ロット対応型と新たな播州織生地開発事業

(大城戸織布)



8

産地での取組例が少ない小ロット・多品種対応型の受注体制を確立すべく、ジャガード織機を改良し電子化を図るとともに、不可能とされている「ガラ紡系・和紙系」の自動織機での製織に挑戦

補助金額：3,000千円

【進捗状況】

小ロット・多品種対応型への移行は順調に図れているが、ガラ紡系・和紙系の自動織機での製織には難航。

【成果】

デザイン・意匠紋紙外注費用が一切掛からなくなったことで、試織コストの軽減が実現し、短納期化にも成功。

また、新規顧客とのつながりも生まれ、今後売上増につながる予定。